

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	急性期看護学特講演習 (CNS コース) Seminar/Practice in Critical Care Nursing			担当 教員	江川 幸二 (専任) 平尾 明美 (専任)	
開講年次	1～2年次	単位数	6単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	演習	
選択必修	選択	時間数	270時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>生命危機の状況下で呼吸・循環・代謝管理の必要な患者を受け持ち臨地実習をおこなうことで、クリティカルケア看護に求められる高度な臨床判断と看護実践能力を開発する。また専門看護師のスーパーバイズを受けながらの CNS 役割の実践や、実際の活動を見学することを通して、CNS 役割の理解を深めるとともに、自己の課題を明確にする。</p>						
授業のキーワード		<p>専門看護師、高度看護実践、コンサルテーション、教育・指導、倫理調整</p>						
講義回数	授業内容及び計画							
	<p>I：実習方法（詳細は実習要項を参照）</p> <p>以下の課題を中心に実習を行い、レポートを作成する。</p> <p>課題 クリティカルケアが必要な患者の看護過程の展開 フィジカルアセスメント 患者・家族の危機介入 急性痛・苦痛への援助 治療下での QOL を考えた生活援助 急性期の治療・処置への介助、ME 機器の取り扱い 特殊なクリティカル領域の看護 急性期における倫理的対応 看護スタッフへの教育・指導・コンサルテーション 患者の治療的環境を整える意味での看護管理のあり方</p> <p>実習施設 神戸市立中央市民病院（救急部、集中治療部、後方病棟での看護実践） 兵庫医科大学病院（専門看護師の役割を学ぶ） その他 CNS が勤務している病院（専門看護師の役割を学ぶ）</p> <p>II：実習場所での指導者のスーパービジョンやカンファレンス、および学内でのゼミを通して課題を探求する。 （クリティカルケア看護に必要な臨床判断、看護実践能力、専門看護師としての役割に焦点をおく）</p>							
テキスト	なし							
参考文献	適宜紹介する							
成績評価の方法	実習における目標達成状況と取り組みの内容（60%）、および課題レポート（40%）で評価する							
教員から学生へのメッセージ								